

高すぎる！

4年連続、府下の市で最高額！ 国保料値下げへ

日本共産党の追及に市が値下げを認めるに

4月から京都府下で统一的に運営する国民健康保険制度。広域化により国保料値上げが懸念されていましたが、八幡市は来年度の国保料を値下げできる見通しを示しました。日本共産党八幡市議団の質問への答弁。

実現すれば3年連続値下げとなります。日本共産党の繰り返しの追及が実りました。

6万円も高かった！

今年度、課税所得200万円、4人家族で保険料は約41万円でしたが、府の仮係数で計算すると6万円も高かったことが答弁で判明。高すぎる国保料の実態が浮き彫りになりました。

今後、国の診療報酬改定、市の国保料最高限度額の設定などで保険料が確定しますが、「国保料下げよ」の声を広げて、国保料の大幅値下げを実現しましょう。

八幡市12月議会で、日本共産党と市民のみなさんの運動が実り、高すぎる国民健康保険料の値下げ、就学援助の入学準備金の前倒し支給（5月支給を3月支給へ）などの子育て支援が一步前進しました。



新入生の入学準備金

入学前に支給 カバン・制服などの購入支援

所得の低い世帯への義務教育での支援として取り組まれている就学援助制度。その一つに、小学校、中学校入学時にランドセルやカバン、制服の購入費として支給する新入学学用品費（入学準備金）があります。八幡市では入学後の5月支給でしたが、12月議会で3月に支給するための予算1635万円が計上されました。

議会質問、予算組み替えを重ね

全国的な運動を反映し、文部科学省は入学前支給を促す通達を出しました。八幡市では、日本共産党が3月議会で取り上げ、予算組み替え動議を提出しました（他会派が反対し否決）。さらに6月、9月にも質問を重ね、8月、11月に市・教育委員会に要望しました。

こうした改善要求にたいし、市は、支給時期について「近隣の自治体の動向を注視する」立場にとどまっています。しかし、日本共産党市議団と市民のみなさんの運動で大きく前進しました。

八幡市は市民の くらしの声を聞け

プラスチックごみ

6割の地域で年末年始1ヵ月放置

八幡市では、プラスチック容器包装の回収は2週間に1回ですが、年末年始のゴミ収集日程で、月～水曜収集の地域は、プラごみが12月18～19日に回収されたあと、次は1月15～17日までほぼ1ヵ月間、回収されませんでした。市全体の6割の地域が該当します。

日本共産党市議団は、プラごみの「週1回の回収」を迫るとともに、年末年始に、月～水曜日回収地域に中間の時期に臨時回収を行うよう要求。これにたいし、八幡市は「週1回の回収」も、年末年始の臨時対策も拒否しました。枚方、京田辺市と同様、毎週回収などの改善をすべきです。

京田辺市
枚方と同様
週1回の回収を

来年度 水道料金値上げに続き さらに福祉減免（上下水道基本料金）を廃止

八幡市は、9月議会で水道料金値上げ条例を強行し、12月議会で上下水道料金の基本料金減免を、来年度以降2段階で廃止すると表明しました。

水道料金の値上げで、市民の負担は17%、年間1億7000万円増えます。さらに、所得の低い世帯向けの上下水道基本料金の軽減制度を2年間で廃止すると、高齢者、ひとり親世帯など約1300世帯に影響し、負担は年間1100万円増えます。

2ヵ月で水道を30立方メートル使用世帯で32%もアップします。庶民狙い撃ちの値上げです。

低所得者を狙い撃ち

こんにちは 日本共産党です

<八幡市議会報告ニュース> 2018年冬号
日本共産党八幡市議会議員団 075(983)2005 (FAXも)
メールアドレス jcp-ywta@am.wakwak.com

力あわせてがんばります

山本 邦夫市議 982-8844
巖 博市議 982-9663
亀田 優子市議 982-1277
中村 正公市議 983-8312

一人で悩まず
お気軽に
ご相談を

小児救急の充実 高校卒まで医療費無料
 少人数学級 食材の放射線調査 修学旅行費補助

子育て応援の請願署名

日本共産党のみ賛成 不採択に

八幡市12月議会では、市民の方から出された「子育て応援、ゆきとどいた教育の実現」を求める請願署名(2370名)が審議されました。

請願は、高校卒業までの医療費無料化、少人数学級、学校・保育園の給食食材の放射線量測定、修学旅行費の公費補助復活など子育て支援を求める内容です。残念ながら賛成は日本共産党(4人)だけで、他の会派・無所属の議員が賛成せず不採択となりました。(議長は採決に参加せず)

日本共産党は、市民の声にこたえる市議会への改革をめざしてがんばります。

市民の声にこたえる議会を

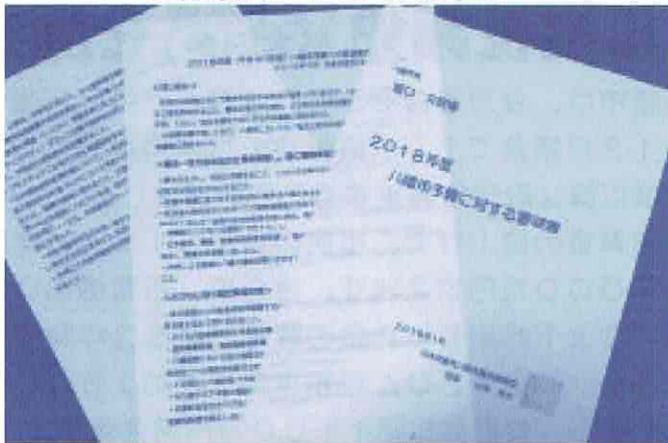
差し押さえを乱発 八幡市

不況による給与・所得の減少、年金切り下げで、「高すぎる税・国保料を払えない」人が続出しています。税・保険料の徴収のために、八幡市が銀行・郵便局の預貯金を差し押さえるケースが相次いでいます。生活実態を考慮しない差し押さえで、悲鳴の声が上がっています。

国も「生活困窮者への差し押さえ」を制限しているのに、市では「差し押さえで貯金がなくなった」「歯医者に行くためのお金が無くなった」などの事例が相次ぎ、滞納分の分納を約束した人にも説明なしに差し押さえたケースもあります。暮らしを守る立場に立つべきです。

生活困窮者に配慮を

来年度予算で市に要望 平和、暮らし、まちづくりなど 6分野、104項目



日本共産党八幡市議団は1月23日、市にたいし来年度予算に対する要望書(6分野104項目)を提出しました。

憲法生かして

緊急要望として、八幡市として憲法を守る立場を表明し、憲法9条の平和原則、25条の生存権保障など、憲法を生かして平和、暮らし、民主主義を大切にする市政運営を求めました。

休日夜間の小児救急体制の整備に向け、医師・看護師の確保を支援すること、高校卒業ま

での医療費無料化、介護保険料の値下げ、65~74歳の高齢者の医療費負担を1割に下げることなどを要望。上下水道料金では料金引き下げ、低所得者への基本料金減免を廃止しないことを求めました。

バス路線の充実

バスなど公共交通網の充実については、高齢者へのバス助成の復活、八幡市駅・市役所周辺から欽明台地域・松井山手方面、京都岡本記念病院へのバス路線開設を求めました。

くらしの願い実現に全力

日本共産党の一般質問

介護保険料値下げを 山本邦夫議員

質問 介護保険の国の交付金が1億6550万円削減され、介護保険料に上乗せされている。国に補助改善を求め介護保険料値下げを。

答弁 今年度の調整交付金の差額は1億6000万円前後の見通し。現在の介護保険給付費基金は来年度以降の保険料に充てる予定。

大谷川など水害対策を 中村正公議員

質問 大谷川の内水排除対策として科手に樋門をつくる計画が検討されているが、今後の見通しはどうか。

答弁 科手樋門は整備されれば、浸水被害の低減が期待できると京都府から聞いている。事業化に向けた国と府の協議を注視したい。

最低賃金を下回るな 亀田優子議員

質問 シルバー人材センターに発注する清掃業務は、10月以降、最低賃金割れしている。最低賃金を上回るよう改善すべきではないか。

答弁 清掃業務の委託料は配分金としての支払いのため、法的には問題ない。引き上げに必要な予算額は10万円。

市営浴場の定期点検を 巖 博議員

質問 市営浴場は秋に天井版が落下して長期間、休業した。施設の管理は十分だったのか。定期的な点検が必要ではないか。

答弁 国では、天井について3年に1度の定期点検の対象としていないが、市独自で点検して安全の担保を図る。

くらしの相談会

2月24日(土) 18~20時
 生涯学習センター 会議室1(1階)

日本共産党八幡市議団⇒075-983-2005

くらしの困りごと
 ご相談を
 無料

相談される方は党市議団に連絡を。相談会以外の日程でも議員団にご相談を。

が力
 あわ
 ばり
 せて
 ます



府会議員

森下よしみ